

第46回 SCCJセミナー開催のご案内

明日のスキンケアのために今知っておくべき技術

本セミナーは化粧品を創るためのさまざまな分野からテーマ選定をしてみました。今回は「明日のスキンケアのために今知っておくべき技術」と題し、スキンケア化粧品の開発に関する基礎的情報とともに、製剤を検討する上で重要と考えられる測定方法や規制、さらに最新の製剤技術の紹介まで幅広い内容を取り上げました。今回のセミナーでは大学から2名の先生、業界内外から5名の皆様を講師としてお招きし、さまざまな関連した基礎研究や技術動向について広くお話しいただきます。また本セミナーの特色でもある、講演後の講師の方々と意見交換ができるフリーディスカッションの場もご用意いたします。講師の皆様と直接議論する事で、聴講するだけでは得られない新たなヒントも見つけられるものと思います。こちらにも奮ってご参加ください。

日 時 2015年9月15日(火) 10:00~17:35 (受付開始 9:30)

会 場 セミナー：大阪国際交流センター 大ホール
 フリーディスカッション： 同会場 さくらの間 東西
 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 8-2-6
<http://www.ih-osaka.or.jp>

参加費

会員 (正・準・シニア)	13,000 円
代理出席 (注1)	13,000 円
一般	19,000 円
当日参加 (会員・一般共に)	19,000 円

(注1) 正会員が不参加の場合は代理人1名が代理出席を利用できます。

申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信願います。

FAX ⇒ 045-590-6093

申込を頂きましたら確認のFAXを事務局から返信致します。3~4日以内に届かない場合は、事務局までご連絡をください。

なお、参加証は発行しておりません。

<申込締切日 9月1日(火)>

<振込締切日 9月8日(火)>

お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**46**をご記入願います。

振込先

みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
 「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」

キャンセルおよび複数でのお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

明日のスキンケアのために今知っておくべき技術

< スケジュール >

< 総合司会 早瀬基 (花王株) >

時間	題目・講師
10:00-10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 植田光一

< 座長 里中研哉 (岩瀬コスファ株) >

10:05-10:55	三相乳化エマルジョンと保湿効果 神奈川大学 特別招聘教授 三相乳化プロジェクト 田嶋和夫先生
10:55-11:35	欧州・アジア展開に向けた化粧品規制基礎知識 (株)コーセー 研究所 技術情報管理室 田中覚氏
11:35-12:40	昼食休憩

< 座長 寺崎克彦 (牛乳石鹸共進社株) >

12:40-13:20	化粧品における防腐処方設計 ～パラベンフリー・防腐剤フリーの実現に向けて～ (株)マンダム 製品保証部 評価分析室 目片秀明氏
13:20-14:00	スキンケア製品のための容器情報 ～容器材質とトラブル事例～ 竹本容器株 営業部 松本博樹氏
14:00-14:40	肌のエイジングとトラブル肌の基礎知識 東海大学医学部 客員教授 井上紳太郎先生
14:40-14:50	休憩

< 座長 久留戸真奈美 (株)エフシージー総合研究所 >

14:50-15:30	アンチエイジングスキンケア開発への取り組み (株)資生堂 リサーチセンター 江連智暢氏
15:30-16:10	化粧品開発における非侵襲皮膚計測技術 エムティーコンサルティング 高橋元次氏

< 総合司会 早瀬基 (花王株) >

16:20-17:30	フリーディスカッション
-------------	-------------

17:30-17:35	閉会の挨拶 セミナー副委員長 栗山健一
-------------	------------------------

演題 ① 三相乳化エマルジョンと保湿効果

神奈川大学 特別招聘教授 三相乳化プロジェクト 田嶋和夫先生

要旨：「柔らかい親水性ナノ粒子」によって油剤を乳化した三相乳化型化粧料はヒト肌に対して、かなり特異的な効果を示すことが最近の研究より明らかとなった。本講演は、先ず「三相乳化技術」の原理と基礎的物性について解説し、次にヒト肌に対する保湿効果の実例を基に、三相乳化エマルジョンと比較系との差異について作用機構の観点から述べる。さらに、O/W型三相乳化エマルジョンは外水相を殆ど除去した乾燥状態でも、エマルジョン構造が保持でき、観察できることから、従来のエマルジョンと異なる特異な物性が発現すること、などについても紹介する。

演題 ② 欧州・アジア展開に向けた化粧品規制基礎知識

㈱コーセー 研究所 技術情報管理室 田中覚氏

要旨：国内化粧品市場の成熟化に伴い、昨今では多くのメーカーが海外市場への展開を進めている。海外における日本品質は化粧品でも信頼されるものの、規制視点で見ると国内規制とは大きな隔りがある為、導入先国の規制情報を充分理解した上で参入しなければ、法令違反により大きなビジネスチャンスを逃すことになりかねない。本演題では、アジア地域の化粧品規制のベースとなっている欧州化粧品規制、及び各国化粧品規制の基礎的な部分を解説し、製剤開発における注意点などを紹介する。

演題 ③ 化粧品における防腐処方設計 ～パラベンフリー・防腐剤フリーの実現に向けて～

㈱マンダム 製品保証部 評価分析室 目片秀明氏

要旨：消費者が化粧品を使用する際に、使い始めから最後まで安全に安心して使用できることは化粧品が有すべき重要な品質である。一方で、消費者の安全性志向の高まりにより、製品のパラベンフリー・防腐剤フリー化が求められている。本講演では製品の防腐設計をする際の留意点として、防腐剤の特徴や防腐力に影響を与える因子などを中心に述べる。また、多価アルコールなどの防腐剤以外の防腐成分の具体例を示しながら、その抗菌特性と皮膚刺激性についても紹介する。

演題 ④ スキンケア製品のための容器情報 ～容器材質とトラブル事例～

竹本容器㈱ 営業部 松本博樹氏

要旨：化粧品を入れる容器に対しては、共通の基準、規制が存在せず、各化粧品メーカーや容器メーカーが過去の経験をもとに独自のテスト内容を作りあげてきている。化粧品と容器との相性は今後も重要な確認作業であることは間違いない。今回の講演では、改めて化粧品用途に用いられるプラスチック材質がどのような特徴があるのかを、過去の事例を交えて整理し、それら容器材質と内容物との相性が悪い組み合わせやその理由などを考察する。

演題 ⑤ 肌のエイジングとトラブル肌の基礎知識

東海大学医学部 客員教授 井上紳太郎先生

要旨：アンチエイジングは化粧品にとって永遠のテーマであるが、長寿に伴うQOL向上意識の高まりを背景に近年一層関心が高まっている。科学の進歩により寿命の延長や老化防止を真剣に議論できるようになり、以前は限られた権力者のみが追い求めた不老や永遠の美に対して、私たち庶民でも関心がもてるようになってきた。エイジングに関する化粧品視点での基礎的理解を深めながら、近年の研究動向も踏まえてアンチエイジングを考えたい。

演題 ⑥ アンチエイジングスキンケア開発への取り組み

㈱資生堂 リサーチセンター 江連智暢氏

要旨：顔の形状は加齢と共に大きく多様に変化する。額には深いシワが刻まれ、頬はたるみ、フェースラインが曖昧になる。こうした変化は老けて見える大きな要因であり、肌悩みの上位に挙げられる一方で、十分な対応がなされていない。これは顔の形状変化の定義や評価法が十分に確立されておらず、メカニズムも明らかではないことが原因と考えられる。今回は、複雑な顔の形状変化をどのように捉え、その原因を明らかにし、製品開発に繋げてきたのかを紹介する。

演題 ⑦ 化粧品開発における非侵襲皮膚計測技術

エムティーコンサルティング 高橋元次氏

要旨：化粧品を考えるうえで重要な品質特性の一つに有用性があげられる。化粧品の効能・効果をより科学的な指標で評価する有用性研究(Evidence Based Cosmetics : EBC)において非侵襲的皮膚計測は必要な技術で、多くの方法が開発され活用されてきた。例えば、皮膚の保湿特性を評価する角層水分量測定では、皮膚表面の電気特性や光学特性から求める方法が広く使われているが、最近では *in vivo* 共焦点ラマン顕微鏡が用いられ、角層・表皮の深さ方向における水やNMFの分布状態がわかる。また、皮膚内部の観察においては、超音波やMRI (Magnetic Resonance Imaging) を用いた断層撮影以外に、OCT (Optical Coherence Tomography : 光干渉断層撮影法)、*in vivo* 共焦点レーザー走査型顕微鏡 (confocal laser scanning microscope)、SHG 顕微鏡 (Second Harmonic Generation : 第二高調波発生)、多光子 (励起蛍光) 顕微鏡 (multi photon microscope)、CARS (Coherent Anti-Stokes Raman Scattering) 顕微鏡など、生体顕微鏡とよばれる新しい測定機器が多く開発され、皮膚の組織構造だけでなく皮膚内の成分分析あるいは経皮吸収性なども *vivo* で検出可能になってきている。本講演ではこれらの中から化粧品の有用性研究に用いられる皮膚計測技術についてレビューする。

<お願い事項>

- キャンセルされる場合は、**9月8日(火)**までにご連絡をお願い致します。参加費納入済みの場合には、後日返金致します。**9月9日(水)**以降にキャンセルされたときは、ご返金できません。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで **FAX (045-590-6093)**にてお知らせ願います。入金確認業務の円滑化にご協力をお願い致します。

<お問合せ・お申し込み先>

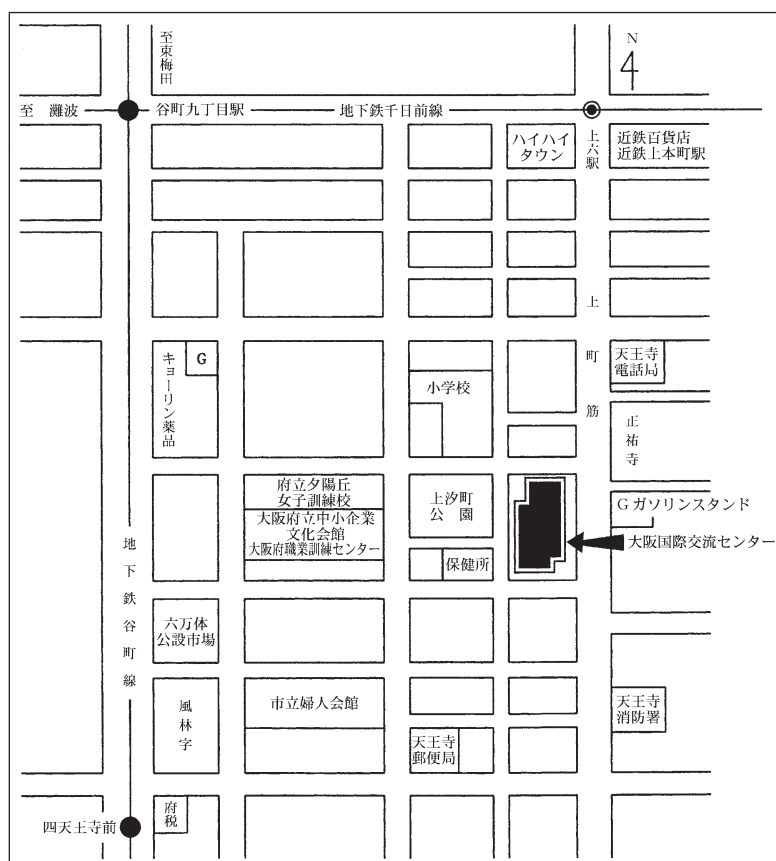
日本化粧品技術者会 事務局 (森、千葉)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 (株)資生堂 リサーチセンター(新横浜)内

TEL : 045-590-6025 FAX : 045-590-6093

<会場地図>



■交通アクセス

- 地下鉄梅田方面からお越しの方 : 「谷町九丁目」下車徒歩10分
- 地下鉄天王寺方面からお越しの方 : 「四天王寺前」下車徒歩10分
- 近鉄利用の場合 : 「上本町」下車徒歩5分

2015. 9.15開催 第46回 SCCJセミナー参加申込書

【参加申込み方法】

2015年9月1日(火)締切り迄に FAX にてお申込み下さい。数日以内に受付完了 FAX をご連絡致します。

万一、数日経過しても受付完了 FAX が届かない場合は、事務局 TEL : 045-590-6025 へお問合せ下さい。

※[代理]とは、正会員が不参加の場合につき、代理 1 名まで会員料金での参加をご利用頂けます。

尚、準会員・シニア会員に代理出席権はございません。SCCJ 誌定期購読者は非会員の為[一般]参加となります。

【キャンセルについて】

2015年9月8日(火)締切り迄に SCCJ 事務局へ TEL または FAX にてご連絡下さい。

キャンセル締切り日以降のお申出の場合、ご返金出来ません。ご了承下さい。

	フリガナ 参加申込者の氏名	参加区分に○印を付けて下さい					代理参加の場合 正会員の氏名	事務局記入欄 受付No.
		正会員	準会員	シニア会員	代理	一般		
1		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
2		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
3		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
4		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		
5		正会員 ¥13,000	準会員 ¥13,000	シニア会員 ¥13,000	代理 ¥13,000	一般 ¥19,000		

※連絡先をご記入下さい

(フリガナ)	
所属・社名 :	振込名 : 4 6
申込担当者氏名 :	振込予定日 :
TEL :	返信先 FAX :
E-Mail :	(内訳 : ¥13,000× 名 + ¥19,000× 名)
	振込合計金額 : ¥

【お願い】 お振込金額・お振込日が変更になる場合は、必ず SCCJ 事務局迄ご連絡下さい。

申込 : 2015年9月1日(火) 締切り

入金 : 2015年9月8日(火) 締切り

FAX送信先 : 045-590-6093